
ピーターパンは夢を見ない

茜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピーターパンは夢を見ない

【著者名】

Z6734Y

【あらすじ】

深夜、ぼんやりと外を眺めていた私に目の前に降り立った異国の服を着た陽気な少年が言う。『はじめまして、僕はピーターパン。僕と一緒にネバーランドに行ってくれないかい?』 - - - お伽話を信じて夢見る少女はピーターパンを探す。

深夜、ぼんやりと外を眺めていた私に田の前に降り立つた異国の服を着た陽気な少年が言う。

「はじめまして、僕はピーターパン。僕と一緒にネバーランドに行つてくれないかい?」

ええ、もちろんよと私が返すと、少年は満面の笑顔で私へと手を差し出す。

その笑顔はとても無邪氣で、世間知らずで、冒險のない世界にうんざりしていた私の心を強く惹きつけたわ。

そんな少年の手を取ると、不思議なことに私の身体は浮いたの。少年がああ行こうと進むと、引っ張られるように私もその後に続いて空の雲と同じ高さまで行つたわ。

ねえ、信じられるかしら。

ねばあらんじは素晴らしい所だつたわ。

毎日少年とその仲間たちと踊り、歌つて、走り回つて遊んだの。

彼らはとても冒険好きで、氣のいい海賊さんのお宝を使って王様ご

つこや宝探しをして遊んだわ。

私は人魚さんが好きだつたわ。彼女たち、ああ、人魚つて男の子もいるの、知つてた？私も驚いたのよ。

彼女たちはとても少年が大好きで、最初はいじわるもされたけど、打ち解けたらすぐ楽しい陽気な人たちだつたわ。

でもある日少年が仲間たちを集めて言つたの。

「僕はここを出なくちゃ。」

私たちは驚いて少年に理由を問たり説得したけれど、少年は、それ以上何も告げることはなかつた。

少し哀しい目で仲間を見て、その後に私に君もくるかい、と言つたの。

私は少年と目が合つて気付いたの。私の世界で今私は15歳だと。もう子供ではいられない。

私が少年の手を来た時と同じように取ると、空へと向かつた。

人魚さんたちや、散々困らせた海賊さんたちと話すこともできなかつたことだけが悔やまるわ。

数年前に丁度私が空を見上げていた場所に降り立つて、私は彼を見た。

さようならと哀しそうに伏せられた綺麗な灰色の眼から私は目を離せなかつた。

きっと一度と会つことはないだろうという予感、ではなく確信があつて、彼と私は離れがたかったの。

どちらも何も言わず、見つめ合つた状態から動けなかつたとき、私の部屋の外から物音がした。

人の足音がした方向に私が一瞬目を向けて再び振り返ると、彼はも

うどこにもいなかつた。

存在 자체がなかつたかのように私に何も残さなかつたわ。

これが私の初恋よ。

彼は多分どこかで他の女の子と結婚して、子供がいて、きっと幸せに暮らしているんだわ。

私とのことは、長い夢だったんだろうって思つてているに違いない。

でもいいのよ、だつてきつといつかまた会えるに決まつていてるものの。
彼が夢を見なくなつたから、私が今度は夢を見るの。

これは、私の曾祖母おばあちゃんの話。

おばあちゃんが10歳から15歳になるまでずっと一緒に暮らした

男の子との話。

私のお母さんが小さい頃、寝る前に話してくれて以来、ずっと忘れられないお話だ。

曾祖母おばあちゃんは曾祖母おじいちゃんと結婚して、旦那さんには内緒ですっとその男の子を探していたらしい。

結局見つかるとはなかつたけど、最後に事切れる前に娘にこのことを話したんだって。

それ以来私の家系の女性はみんなそのお話を小心翼ひと一緒にお伽話と一緒に聞かせてもらひ。

お母さんも小さい頃おばあちゃんから聞かされて、幼いながら鼻で笑つたらしい。

ありえないってね。

でも私は違つた。

どんな男の子だったのか、瞳の色は？髪の毛は？異国の服つて？ピーターパンと名乗つた遙か昔の少年を想像して、その想像の少年に恋をした。

まあ、若氣のいたりつてやつ。聞かされたの7歳だったし。あれから10年も経つと、さすがに我が家でもその話は一切持ち上がるこどもなくて。

でも私は忘れられなかつた。

私がおばあちゃんの代わりに夢を見る。

だつてきつと少年だつた彼が結婚していく、子供がいたら、その孫がいるかもしないでしよう?

1 お伽話（後書き）

後書きで申し訳ありません。

わざわざひとつ連載ついていますが、下きました。『』報告申し上げます。

ピーターパンは夢見ないは3話くらいで終わる短編物にしようと思
っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6734y/>

ピーターパンは夢を見ない

2011年11月20日17時00分発行